

＝ 会 告 ＝

講演会・見学会等の開催予定

2021年1月12日現在

開催予定 月 日	講 演 申込締切	前刷原稿 提出締切	催 し も の	開 催 地	共催学協会名	企画部門	備 考
2021年3月 3日(水)～ 6日(土)	2020年 12月15日(火)		AJCPP2021 兼第60回 航空原動機・宇宙推進講 演会 ハイブリッド開 催	韓国 済州島	KSPE CSET JSASS	原動機・推 進部門委員 会	68巻11月 会告4頁参照
2021年3月 18日(木)～ 19日(金)	2020年 12月11日(金)	2021年 1月22日(金)	北部支部2021年講演会 ならびに第2回再生使 用宇宙輸送系シンポジ ウム オンライン開催			北部支部	68巻10月 会告2頁参照
2021年4月 19日(月)～ 20日(火)	2020年 12月28日(月)	2021年2月 12日(金)	第52期年会講演会及び 定時社員総会 オンライン開催			第52期理 事会	68巻12月 会告2頁
2022年2月 26日(土)～ 3月4日(金)	2021年 8月18日(水)	2021年12月 25日	第33回宇宙技術および 科学の国際シンポジウ ム (ISTS)ハイブリッド開 催	大分県 別府市		第33回 ISTS組 織委 員会	

新型コロナウイルスの感染終息の見込みがたないことから、状況によっては講演会を中止させていただく場合がありますので、ご来場前に、必ずホームページ等で開催の有無をご確認下さい。

<https://www.jsass.or.jp/> <日本航空宇宙学会 事務局 Tel : 03-6262-5313>

会員数 (2020年12月現在)

資格 摘要	正会員	学生 会員	名誉 会員	賛助会員 (個人)	賛助会員 (団体)
12月会員数	3327	1033	50	0	60
11月会員数	3317	1031	50	0	60
差 引 増 減	10	2	0	0	0

新入会員名簿正会員 (敬称略)

末福久義 ((株)IHI), 小竹秀明 (情報通信研究機構), 米倉一男 (東京大学), 赤井勇太 ((株)本田技術研究所), 角勇司 (宇宙航空研究開発機構), 宇治野竜馬 ((株)本田技

術研究所), 杉山和靖 (大阪大学), 入江雅彦 ((株)コーワ), 村田暁紀 (海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所), 相原弘明 (桜美林大学), 津守不二夫 (九州大学大学院), 須貝英基 (日本工営(株)), 森田駿也 (キャノン電子(株)), 中村友祐 (名古屋大学)

新入会員名簿学生会員 (敬称略)

鈴木 順 (福岡大学), 小林稜平 (東北大学), 大庭太陽 (国立高専機構 沼津高専), 八木宗一郎 (秋田大学), 小林達矢 (東北大学), 田中寛人 (東北大学), 岸本健吾 (室蘭工業大学), 山本淳平 (名城大学), 畠田卓矢 (室蘭工業大学)

会員訃報

ご逝去の訃音に接し、ここに謹んで哀悼の意を表すとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

吉川孝雄君 2020年 2月12日ご逝去
山口 進君 2020年 1月10日ご逝去
相原康彦君 2020年 11月10日ご逝去
長尾広志君 2020年 10月27日ご逝去

金井喜美雄君 2019年 12月18日ご逝去
川原 剛君 2020年 6月22日ご逝去
宇多小路豊君 2018年 5月20日ご逝去
小野 英男君 2020年 10月26日ご逝去

第 30 回 日本航空宇宙学会賞（論文賞・技術賞・奨励賞）
授賞決定のお知らせ

2021 年 1 月 30 日
第 52 期 理事会

2020 年度の日本航空宇宙学会賞につきましては、本誌 2020 年 7 月号および本会ホームページに募集要項を掲載し、2020 年 8 月 10 日までに応募および推薦のあった候補を対象に、論文、技術、および奨励賞選考委員会におきまして、慎重かつ厳正な審査を行い、下記記載のように、論文賞 2 件、技術賞 4 件（基礎技術部門 2 件、プロジェクト部門 2 件）および奨励賞 1 件の学会賞授賞候補を選考いたしました。これらの授賞候補は理事会に上申され、2020 年 12 月 18 日開催の第 579 回理事会において審議の結果、授賞を決定いたしました。

なお、受賞者の皆様には、2021 年 4 月開催の定時社員総会・会員の集いにおきまして表彰を行い、副賞を贈呈いたします。選考結果の詳細は、会誌 5 月号に掲載されます。

（敬称略／所属は論文・技術等公表当時のものです。）

☆論文賞（2 件）

（1）はやぶさ 2 の化学推進系の開発と往路運用

森 治、櫛木 賢一、成尾 芳博、澤井 秀次郎、志田 真樹、丸 祐介、道上 啓亮、中塚 潤一
（宇宙航空研究開発機構）、高見 剛史、浦町 光（三菱重工業株式会社）

（2）Development of Engineering Model Providing Body Force Distribution of Tri-Electrode Plasma Actuator

中井 公美、西田 浩之（東京農工大学）、浅海 典男、田中 雄飛（株式会社 IHI）、松野 隆
（鳥取大学）

☆技術賞（4 件）

[基礎技術部門]

（1）全速度流体計算スキーム SLAU の開発

嶋 英志（宇宙航空研究開発機構）、北村 圭一（横浜国立大学）

（2）航空交通データの収集・整備・提供

岡 恵、古賀 禎、瀬之口 敦（海上・港湾・航空技術研究所）

[プロジェクト部門]

（3）はやぶさ 2 搭載 MINERVA-II ローバ

吉光 徹雄、久保田 孝、富木 淳史（宇宙航空研究開発機構）、廣瀬 智之、須藤 泰志、藤村 優
（株式会社 デジタル・スパイス）、足立 忠司（株式会社 セシアテクノ）、朝倉 義信、大江
和広、関根 一秀、藤松 拓也（株式会社 nittoh）、中谷 一郎（愛知工科大学）、
はやぶさ 2 プロジェクトチーム（宇宙航空研究開発機構）

（4）革新的衛星技術実証 小型衛星技術実証 1 号機

宇宙航空研究開発機構 研究開発部門 革新的衛星技術実証グループ、株式会社 アクセルスペース

☆奨励賞（1 件）

澤木 悠太（東北大学）

ハイブリッド非構造格子に対するスペクトラルボリューム法の格子収束性に関する研究

日本航空宇宙学会関西支部 第475回航空宇宙懇談会

主催：日本航空宇宙学会 関西支部

日時：2021年2月12日（金）15時～17時

実施方法：WebExによるオンラインにて開催いたします。

講演 1

宇宙機の光学航法・姿勢センサの研究開発

JAXA 研究開発部門 第一研究ユニット
清水 成人 氏

宇宙機は、自身の位置や向き（姿勢）を知るために、様々な航法・姿勢センサを搭載している。それぞれのセンサは、例えば太陽や地磁気、重力、恒星といったそれぞれの観測対象の情報を計測し、出力する。

筆者は、そのうちの一つである小型スターズキャナとフラッシュライダの開発を担当している。

小型スターズキャナは、スピン安定方式の衛星の姿勢決定に必要となる天球上の星の明るさと位置（位相）の情報を出力するセンサであり、2016年12月に打ち上げられたジオスペース探査衛星「あらせ」(ERG)に搭載され、現在運用中である。

フラッシュライダは、JAXAが現在開発中の新型宇宙ステーション補給機（HTV-X）への搭載を目指しているLiDAR方式の相対航法センサであり、ターゲットとの相対位置・姿勢を数メートルから数百メートルの広いレンジにおいて計測するセンサである。

本講演では、まず、宇宙機の航法・姿勢センサ技術の概要を紹介し、次いで、上記2センサの開発・技術的特徴を紹介する。

講演 2

はやぶさ2の小惑星近傍運用、地球帰還、拡張ミッション

JAXA はやぶさ2プロジェクトチーム
特任担当役 照井 冬人 氏

小惑星探査機「はやぶさ2」は宇宙航空研究開発機構（JAXA）が開発し2014年12月に打ち上げられた。2018年6月に人類未踏の小惑星「リュウグウ」に到着し、その後、1回目の超高精度タッチダウンとサンプル採取の成功、世界初の人工クレータの生成及びその過程の観測、その人工クレータ近傍への2回目の超高精度タッチダウンとサンプル採取の成功、これによる世界初の月以遠の天体の地下物質採取等、宇宙探査の概念を一新する数々の成果を上げた。

この成果の中で、タッチダウンにおいては1度目の着陸精度1.08m、2度目の着陸精度60cmという世界初の快挙を成し遂げた。

この成果は「ピンポイント・タッチダウン」と呼ばれる方法で達成された。

これは事前の小惑星への降下運用においてターゲ

ットマーカーと呼ばれる再帰反射特性を持つ直径10cmの球をタッチダウン目標位置近傍に投下していき、タッチダウン本番ではその小惑星表面を背景とした画像情報とレーザ距離センサ情報の組み合わせによって探査機のタッチダウン目標位置との相対位置・姿勢を求め、これを航法情報として探査機の位置・姿勢を精密に制御することで実現されたものである。

この「ピンポイント・タッチダウン」の方法は、表面形状や反射特性に不確定性が極めて高い小惑星への着陸に対する信頼性と精度を両立させた解決法を世界で初めて与えたものであり、将来の小惑星探査の戦略に大きな影響をもたらすものと考えられる。

はやぶさ2は2019年11月13日にリュウグウを出発、2020年12月6日に地球に帰還しカプセルをオーストラリアのウーメラ砂漠に投下する。その後スラスタを吹かし地球重力圏を離脱する軌道に移行し、「拡張ミッション」のフェーズに移行する。この拡張ミッションにおいても更なる太陽系探査の可能性が期待される。

参加費： 無料

*参加は学会員に限りません。周りの方や学生の皆様にもお伝え下さい。

参加登録： ①氏名 ②所属 ③役職 を2021年2月9日（火）までに下記事務局までご連絡ください。

問合先：

住友精密工業株式会社 航空宇宙技術部内
日本航空宇宙学会 2020年度関西支部事務局
<http://branch.jsass.or.jp/kansai/>

TEL：06-6489-5837（荻田）

E-mail： jsass-kansai2020@spp.co.jp

第 60 回 航空原動機・宇宙推進講演会(AJCPP2021) 開催案内

主 催 : 韓国推進工学会 (KPSE)
共 催 : 日本航空宇宙学会、中国工程熱物理学会
協 賛 : 日本機械学会、日本ガスタービン学会、日本航空技術協会
ホームページ : <http://ajcpp2021.org>
開 催 日 : 令和 3 年 3 月 3 日(水) ~ 5 日(金)
会 場 : ICC JEJU (韓国 濟州島) (<http://www.iccjeju.co.kr/JA/Main>)
224 Jungmungwangwang-ro, Jungmun-dong, Seogwipo-si, Jeju-do, Korea
Zoom を使用したオンサイト, オンラインハイブリッド講演会
交 通 : リムジンバス。濟州国際空港から ICCJEJU まで車で 40~50 分。

参加登録料 : オンライン参加 :
会員・共催、協賛学会員、一般 200USD (2/16 以降 250USD)
学生 100USD (2/16 以降 150USD)
現地参加 :
会員・共催、協賛学会員、一般 400USD (2/16 以降 450USD)
学生 200USD (2/16 以降 250USD)

参加登録料には講演概要集(英語, 冊子, 電子メディア, 但しオンライン参加の場合には pdf の送付のみ)の代金を含みます。

現地参加登録料には懇親会の代金を含みます。

講 演 集 : 講演概要集(英語)が冊子と電子メディアで発行されます。

基 調 講 演 1 : 日時 : 3 月 4 日(木) 10 時 30 分~11 時 20 分
「3D Printed Liquid Rocket Engines: Advancing Performance And Size」
講師 : Launcher, CEO Max Haot

基 調 講 演 2 : 日時 : 3 月 4 日(木) 11 時 20 分~12 時 00 分
「Space Propulsion System with Green Propellants」
講師 : KAIST Sejin Kwon 教授

基 調 講 演 3 : 日時 : 3 月 5 日(金) 10 時 30 分~11 時 20 分
「Research and Development Progress of JAXA Kakuda Space Center」
講師 : JAXA 吉田 誠 氏

基 調 講 演 4 : 日時 : 3 月 5 日(金) 11 時 20 分~12 時 00 分
「Supersonic and Hypersonic Curved Compression System and its Inverse Design」
講師 : 南京航空航天大学 Kunyuan Zhang 教授

一 般 講 演 :

- (1) 航空機用エンジン技術
- (2) 極超音速ジェット推進
- (3) 化学ロケット(液体,固体,ハイブリッド)
- (4) 衛星化学推進
- (5) 電気推進、先端推進
- (6) 革新的航空推進技術
- (7) 流体・伝熱技術(ターボ機械,ノズル)
- (8) 燃焼技術(燃焼器)
- (9) 材料・構造技術
- (10) 音響・騒音

懇 親 会 : 日 時 : 3 月 5 日(金) 18 時 00 分~20 時 00 分 会 場 : Tamna Hall, ICC Jeju

第53回流体力学講演会／第39回航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウム講演募集

本シンポジウムは、流体力学講演会(FDC)と航空宇宙数値シミュレーション技術シンポジウム(ANSS)を合同開催するものであり、流体力学及び数値シミュレーション技術の分野における研究の発展に寄与することを目的としています。

主催：日本航空宇宙学会、宇宙航空研究開発機構

協賛(予定)：日本流体力学会、日本機械学会、日本風工学会、可視化情報学会、日本ガスタービン学会、情報処理学会、日本燃焼学会、日本応用数理学会

開催日：令和3年6月30日(水)～7月2日(金) (3日間)

会場：東京大学生産技術研究所 総合研究実験棟(A棟)
〒153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1
<https://www.iis.u-tokyo.ac.jp/>

(新型コロナウイルス感染症の状況によってはオンライン開催に変更する可能性があります。)

講演内容：一般講演及び特別企画セッション等

[一般講演] 講演会ホームページ上の申し込み手順に従い、下記のいずれかにご応募ください。なお、一般講演で申し込みの場合でも、企画セッションでの発表をお願いすることがあります。

(一般1)「流体力学に関する講演」

航空機、宇宙往還機、飛行体に関する空気力学または流体力学、流体物理の基礎及び応用に関する研究。

(一般2)「数値シミュレーションに関する講演」

航空宇宙に関連する、流体力学、構造力学等の数値シミュレーション技術及び計算機技術の研究。

[特別企画セッション等] 下記の企画セッション等を設ける予定です。講演を希望される方は、ホームページ上の手順に従ってお申し込み下さい。詳細はホームページ上でご確認いただくか、下記担当者にお問い合わせ下さい。

(ANSS ワークショップ 1) ”Seventh Aerodynamics Prediction Challenge (APC-7)”

詳細情報：<https://cfdfs.chofu.jaxa.jp/apc/>

担当者：APC 実行委員会事務局(cf-d-ws@chofu.jaxa.jp)

(ANSSワークショップ2)「第2回直交格子CFDワークショップ」

担当者：直交格子CFDワークショップ実行委員会

(FDC/ANSS合同企画1)「高レイノルズ数流れと空気力学」

担当者：河合宗司(東北大)、松尾裕一(東京理科大)、河内俊憲(岡山大)

(FDC/ANSS合同企画2)「航空宇宙流体データ科学の新展開」

担当者：三坂孝志(産総研)、大道勇哉、金森正史(JAXA)

(FDC/ANSS 合同企画3)「低レイノルズ数流れ」

担当者：浅井圭介(東北大)、大山聖(JAXA)、岡本正人(金沢工大)

(FDC/ANSS 合同企画4)「革新回転翼機・eVTOL 機の空力的課題」

担当者：嶋英志、田辺安忠(JAXA)

(FDC/ANSS合同企画5)「空力音の予測と低減」

担当者：今村太郎(東京大)、池田友明、村山光宏(JAXA)

(FDC/ANSS合同企画6)「民間超音速機実現のための空力設計技術」

担当者：金崎雅博(都立大)、牧野好和(JAXA)、佐宗章弘(名古屋大)、大林茂(東北大)

(ANSS企画1)「航空機開発のための多分野統合シミュレーション」

担当者：中北和之、橋本敦(JAXA)

(ANSS企画2)「宇宙輸送を支えるシミュレーション」

担当者：松山新吾、長谷川進、佐藤茂(JAXA)

(ANSS企画3)「複雑形状の実用非常常シミュレーション」

担当者：芳賀臣紀(JAXA)、上野陽亮(川崎重工)

(FDC企画1)「先進流体計測技術」

担当者：亀田正治(東京農工大)、中北和之(JAXA)

(FDC企画2)「デトネーションおよび圧縮性反応流の応用」

担当者：遠藤琢磨(広島大)、前田慎市(埼玉大)

講演者の皆様へ：

会場ではPCプロジェクタのみを用意しています。**PCにつきましてはご持参されますようお願いいたします。**

最優秀賞、優秀講演賞：

前刷り論文及び講演内容に基づき、最優秀賞(2件)を授与します。また日本航空宇宙学会よりJSASS学生会員を対象に、優秀講演賞を授与します。優秀講演賞は講演と前刷りの両方に基づき選考されます。積極的な応募をお待ちしております。

発表申込：すべての講演申し込みは原則としてホームページによる申し込みとなります。

<https://www.jsass.or.jp/>

申し込み受付ページにて講演会名を選択後、手順に従い入力してください。

申込締切：令和3年3月12日(金)

原稿：電子媒体講演集を配布します。講演集原稿は執筆要項に従い作成の上、講演会ホームページのWeb入稿システムにより、PDFファイルで提出して頂きます。

原稿締切：令和3年5月12日(水)23時59分まで

参加登録料(講演集含む)：

	事前登録*	当日登録
正会員(主催・協賛)	8,000円	10,000円
非会員	11,000円	13,000円
学生会員	3,000円	5,000円
学生非会員	5,000円	7,000円

問い合わせ先：池田友明 (イケダトモアキ)

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 航空技術部門
数値解析技術研究ユニット

〒182-8522 東京都調布市深大寺東町7丁目44番地1

Tel:050-3362-2710, E-mail: ryu53@chofu.jaxa.jp

件名に【流力/ANSS】と必ず記載して下さい。

シンポジウムに関する諸事項の詳細、執筆要項および原稿フォームのダウンロードに関しましては、ホームページをご覧ください。

<https://www.jsass.or.jp/>

広告展示の募集：プログラムへの広告掲載およびシンポジウム当日の展示を募集します。希望される方は上記問い合わせ先にご連絡ください。

【有料会告】

九州大学 大学院総合理工学研究院 エネルギー科学部門 教授公募

1. 募集人員 : 教授 1名
2. 所属 : 九州大学大学院総合理工学研究院 エネルギー科学部門
エネルギーシステム学講座 宇宙機器制御・構造工学分野
3. 研究分野 : 宇宙等の極限環境下での制御や構造工学などを基盤とした学際的な研究領域
4. 教育活動 : 大学院総合理工学府、工学部融合基礎工学科、九州大学基幹教育、および高専連携に教育・研究指導に熱意をもって取り組むことが求められる。
5. 応募資格 : 博士あるいは Ph. D. の学位を有すること。専門分野に業績があり、学部・大学院学生の教育や研究指導に意欲のある方。
6. 着任時期 : 採用決定後のできるだけ早い時期。
7. 勤務形態 : 常勤。なお、本研究院では教員の任期制を導入していません。
8. 応募締切 : 令和3年5月7日(金) 必着。
9. 問合せ先 : 〒816-8580 福岡県春日市春日公園 6-1
九州大学 大学院総合理工学研究院 山本直嗣
TEL : 092-583-7585 E-mail : yamamoto.naoji.026@m.kyushu-u.ac.jp
10. 詳細 : 詳しい応募情報および応募書類は以下の URL を参照してください。
<http://kobo.jimu.kyushu-u.ac.jp/>
http://www.tj.kyushu-u.ac.jp/ja/aboutus/file/20201225_final_2.pdf

本会共催・協賛・後援行事

2020年度溶接工学冬の夏季大学

主催 : 溶接学会
期日 : 2021年2月1日(月)~8日(月)
会場 : オンライン開催

UNISEC アカデミー —実践宇宙工学講座—

主催 : 大学宇宙工学コンソーシアム
期日 : 2021年2月20日(土)~3月27日(土) (3/20を除く毎週土曜日)
会場 : オンライン (Zoom 使用)

第8回制御部門マルチシンポジウム

主催 : 計測自動制御学会
期日 : 2021年3月1日(月)~4日(木)
会場 : オンライン

2020年度衝撃波シンポジウム

主催 : 日本衝撃波研究会
期日 : 2021年3月3日(水)~5日(金)
会場 : オンライン開催

第2回世界エンジニアリングデー 記念シンポジウム

主催 : 日本工学会

期日 : 2021年3月4日(木)
会場 : Zoom ウェビナーによるリモート開催

第1回「富岳」流体予測 革新プロジェクトシンポジウム

主催 : 東京大学生産技術研究所革新的シミュレーション研究センター
期日 : 2021年3月10日(水)
会場 : Web 会議、もしくは東京大学生産技術研究所コンベンションホール + Web 会議

第116回シンポジウム 「構造材料のための表面処理と腐食防食」

主催 : 軽金属学会
期日 : 2021年3月12日(金)
会場 : 貸教室・貸会議室 内海 3F 教室
(東京都千代田区神田三崎町 3-6-15 東京学院ビル)

「正しく理解し上手に使う慣性センサ」 全7回講演会 (最終回)

主催 : 慣性センサ応用技術研究会
期日 : 2021年3月25日(木)
会場 : インターネット TV 会議

第58回日本伝熱シンポジウム

主催 : 日本伝熱学会
期日 : 2021年5月25日(火)~27日(木)
会場 : オンライン開催

第26回計算工学講演会

主催 : 日本計算工学会
期日 : 2021年5月26日(水)~28日(金)
会場 : 北九州国際会議場・西日本総合展示場新館 (北九州市小倉北区浅野3丁目)

日本地球惑星科学連合 2021年大会 (JpGU Meeting 2021)

主催 : 日本地球惑星科学連合
期日 : 2021年5月30日(日)~6月6日(日)
5/30~6/1 現地開催、6/3~6/6 オンライン開催
現地会場 : パシフィコ横浜ノース (横浜市西区みなとみらい 1-1-2)